

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	BSE対策など食肉の安全確保対策推進事業		担当部局庁	医薬食品局食品安全部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	監視安全課		滝本 浩司		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅱ-1-1 食品等の飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	食品衛生法第2条、と畜場法第2条、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律第1条の2、牛海綿状脳症対策特別措置法第3条 等		関係する計画、通知等	「牛海綿状脳症に関する検査の実施について」(部長通知)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	食鳥肉・食肉等の安全確保、監視指導體制を強化するため、米国、カナダ等からの牛肉輸入における対日輸出条件の現地査察、都道府県等が行うBSEスクリーニング検査に対する外部精度管理、都道府県等の食品衛生監視員、食鳥検査員、と畜検査員の検査技術等の向上を図るための講習会、研修会を開催し、食の安全を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	米国及びカナダ等の牛肉の対日輸出施設等に対して定期的に査察を行うとともに、BSEスクリーニング検査の外部精度管理、食品衛生監視員に対する疫学調査、監視指導等に関する講習会の実施、食鳥検査員及びと畜検査員に対する検査技術や衛生管理、疾病診断法等に関する研修会の実施							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	44	30	19	15	20	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	44	30	19	15			
	執行額	33	24	23				
執行率(%)	74%	80%	121%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	輸入牛肉の輸入条件不適合数 (当事業は輸入条件に適合しない食肉を国内に流通させないための事業であり、輸入時の輸入条件不適合数に関して目標値を定められるものではない)			件	1	2	1	—
			達成度		—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	都道府県等検査員の検査技術等の向上を図るための研修会、開催数。			回	2 (—)	2 (2)	2 (2)	— (2)
単位当たりコスト	1,019,047 (円/回)		算出根拠	研修会に係る会場借上費、資料印刷代等(2,038,094円)/研修会開催数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.3	0.3	輸入再開要請国に対する現地調査を実施するための旅費を増額要求している。				
	職員旅費	5.8	11.3					
	委員等旅費	0.5	0.5					
	庁費	0.8	0.8					
	食品等試験検査費	7.5	7.5					
	計	14.9	20.4					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	食肉等の安全確保について、BSEも含め国民の関心は高く、統一的な対策の観点からも国費投入の必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	米国、カナダ等から日本への輸出施設に関する現地調査や都道府県が行うBSEスクリーニング検査に対する外部精度管理は国として実施する必要がある。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	食肉等の安全確保のための事業であり優先度は高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	一部に会計法に基づく少額随意契約が含まれている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	より低廉な料金で利用できる会場を使用するなど、研修会に係る会場借上や資料の印刷代に関して、経済的な契約となるよう努めている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	食肉の対日輸出施設に対する査察など、事業に必要なものだけに支出されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	対日輸出施設に対する査察は現地に赴き調査を実施する必要がある。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込み通り実施している。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	研修会により検査員の技術力向上に努め、日々の検査において活用されている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>食肉等の食の安全確保は国民の安心・安全のために重要な事項であるため、諸外国からの牛肉輸入における現地査察、都道府県等が行うBSEスクリーニング検査に対する外部精度管理、都道府県等の食品衛生監視員等の検査技術等の向上を図るための講習会、研修会を開催し(平成24年度は2回開催)、食肉の安全を確保するものであるが、現地調査については、平成24年度は4カ国(米国、カナダ、オランダ及びフランス)で実施し、対日輸出条件の遵守状況の確認及び相手国政府との意見交換等により、不適合事案(平成24年度は1件)の防止に努めているところである。</p> <p>今後についても、現地調査は継続することとしているが、日程や経路を調整することで、効果的かつ経済的な旅程となるよう努める。</p>					
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>本事業は、BSE対策など国民の関心の高い食肉の安全確保のため定期的に査察等実施する経費であり、事業の必要性や執行の観点からの評価も妥当であることから、必要な予算措置に努めること。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0326	平成23年	0296	平成24年	0299

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
23百万円

【随意契約】

A 岩井化学薬品(株)等
28者 13百万円

〔食肉の安全確保に必要な試験
研究のための消耗品購入等〕

【謝金・旅費】

B 個人
11者 0.3百万円

〔食品の安全確保に必要な専門
的助言等〕

【事務費】

C 民間業者等
26者 9百万円

〔職員旅費、消耗品等〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

A.岩井化学薬品(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	M2 Affinity Gel 等 他5件	2.6			
計		2.6	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	100万円未満のため省略				
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	100万円未満のため省略				
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.随意契約

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩井化学薬品(株)	M2 Affinity Gel 他5件	2.6	随意契約	
2	(株)チヨダサイエンス	カバーガラス10箱 他12件	2	随意契約	
3	(株)池田理化	蛍光マルチバンドフィルタ 他4件	1.4	随意契約	
4	(財)星陵会	会場等借上料	1.2	随意契約	
5	(株)ロクス	薬用冷蔵ショーケース 他2件	1	随意契約	
6	(株)ホンヤク社	翻訳料	1	随意契約	
7	理科研(株)	MouseNeuronal IonCannels 他6件	0.9	随意契約	
8	(株)太陽美術	印刷料	0.6	随意契約	
9	(株)豊島製作所	純水装置用交換消耗品セット 他4件	0.5	随意契約	
10	本道産業(株)	液体窒素セルフアー(120L) 他13件	0.4	随意契約	

B.謝金・旅費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	出席旅費	0.05		
2	個人B	出席旅費	0.04		
3	個人C	出席旅費	0.03		
4	個人D	出席旅費	0.01		
5	個人E	出席謝金	0.01		
6	個人F	出席謝金	0.01		
7	個人G	出席謝金	0.01		
8	個人H	出席謝金	0.01		
9	個人I	出席謝金	0.01		
10	個人J	出席謝金	0.01		

C.事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	丸善(株)	書籍購入費	0.3	随意契約	
2	(株)チヨダサイエンス	電子辞書2台	0.2	随意契約	
3	(株)ロクス	棚一式(レクトライン収納シェルビング、シングルベース)	0.2	随意契約	
4	丸善(株)	書籍11冊	0.2	随意契約	
5	(株)JTB首都圏	職員旅費	0.2	随意契約	
6	(株)ニード	トナーカートリッジ購入費	0.1	随意契約	
7	(株)ヤマダ電機	デスクPC(DELL 03010DT) 他1件	0.1	随意契約	
8	日本郵便(株)	後納郵便料	0.09	随意契約	
9	美津野商事(株)	Apple Thunderbolt Display 1台	0.08	随意契約	
10	(株)文光堂書店	書籍購入費	0.04	随意契約	